

1965/6/6 (4)



秋田市で行われた「ベラルーシ
共和国医学研修医の歓迎会」

研修 頑張って

ベラルーシの医師を歓迎

秋田友好協会

郵政省国際ボランティア貯金の寄付金配分によって、ベラルーシ共和国(旧ソ連・白ロシア共和国)から秋田大医学部に研修に訪れている医師四人の歓迎会が二十五日夜、秋田市のホテルで行われた。秋田ベラルーシ友好協会(渡部美穂会長)の主催。

研修に訪れているのは、整形外科医のベスパリチューク・ポール・イヴァノウ

郵政省国際ボランティア貯金の寄付金配分による研修医の受け入れは今回が初めて。いずれも今月九日に

来日、一―三カ月間の予定で、秋田大医学部の整形外科、第一外科、小児科などで研修している。

歓迎会には同友好協会の会員や郵政省関係者、秋田大医学部関係者など約三十人が出席。渡部会長が「日本人の善意をくんで、一生懸命研修に励んでほしい」と激励した。

またこの日は、奥宮医学留學生として一年間、秋田大医学部で研修し、今月末に帰国するセルゲイ・キシユクルノ・ウラヂミロヴィチさん(心と)、アレクサンドル・アンドレイキエウク・エウゲニエヴィチさん(心)の送別会も行われた。